

## ひよこ組 12月のクラスだより



2020年 12月10日(木)



12月に入ると風が冷たく、ひよこ組の子どもたちには、園庭に出る機会が少なくなってきました。でも、暖かい室内で新聞紙を破ったり、シール貼りをして遊んでいます。まだ、シールの台紙から自分で剥がせない時には保育士が手伝い、広い段ボールのいっばいにペタペタシールを貼っています。指先で上手につまみ、貼ることができるようになってくると自分のズボンや足にも貼っていました。くっつくことが不思議なんですよね。

また、手足の力が強くなり体のバランスをとることも上手になってきました。トランポリンや平均台に登ったり、廊下で三輪車に乗ったりしていますが、その動きが速いことに驚かされます。

コロナ禍の中で、いつもとは違う年末年始を迎えますが、子どもたちの動きや、言葉、表情などに表れる成長と愛らしさが、お家の方にとっては喜びや希望となって、新しい年を迎える力になっていくのではと思いました。

来年も子どもたちが元気に過ごし楽しく遊びながら、自分らしさをのびのびと表現し、育っていくことを支えていきたいと思います。



(シール貼りをしてクリスマスツリーを作ったよ)



(ペタペタ、ペタペタ貼ったよ)

### ★新しいお友だちの紹介！仲良く遊ぼうね！



F・Hくん



Y・Iくん

### ★新聞紙って面白いよ！

床一面に新聞紙を広げると、その上をそっと歩いたり、持ったりしていました。保育士が破ってみせたり、切り目を見せるとふみと君がすぐに、その切り目を見つけてピリピリと破りました。「あっ、破れたね」と言うと、ふみと君は得意げな表情でした。他の子ども達も破ったりクシャクシャにして、紙を破る気持ち良さや、形が変わる面白さを楽しみました。



( 今丸・福岡・尾崎 )



2020.12.10(木)

もう12月、やっと12月、、皆様にとってはどのような1年だったでしょうか。冷たい風に鼻を赤らめながらも、元気に遊ぶ子ども達の姿にこの1年での成長を感じます。「冬」という季節を感じながら、日々遊びを楽しんでいきたいと思えます。また、乾燥する時期なので体調に気を配りながら過ごしていきたいです。

### 「難しいけど 楽しいな!!」

シール貼りやパズルなど指先を使った遊びをしています。台紙から剥がしたシールを、好きな所に貼れるようになりました。手にくっついてなかなか台紙に貼れず、苦戦している子ども達も指先を動かして自分で考えながら貼っています。



パズルは簡単な型はめパズルからスタートしました。

「自分でできた!!」という喜びから「もう一回する!!」と何度も挑戦しています。



これからも、指先を使った遊びを取り入れていきたいと思えます。



### ～お知らせ～

・12月19日(土)は以上児の生活発表会の為、未満児クラスはお休みになります。宜しくお願い致します。

・着脱に興味もある子どもが多くなってきたので、1月より午睡時にパジャマの着用を行っていきたくと思っています。子ども達が脱ぎ着しやすい物で準備をお願い致します。パジャマは週末に持ち帰りますので、翌週に持たせて下さい。

《持ってくる物》

パジャマ上下・パジャマを入れる巾着



### 「今月のすみれ組」

♪ジングルベル、ジングルベル

鈴が鳴る～♪

みんなでクリスマスツリーの帽子を作ったよ!!

「サンタさんくるかな??」



\*寒くなり、厚着しやすい時季ですが、保育室は温度調節をしています。子ども達が過ごしやすい環境です。よく動き遊ぶ子ども達は暖かい肌着や裏起毛の衣類では汗をかいてしまうほどです。登降園時に上着での調節をお願い致します。

1歳児担任…木山・五島・太田



# ちゅうりっぷだより



第9号

令和2年12月10日(木)

寒さも少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じるようになりました。子ども達は窓から北風が吹きこむたびに「寒い！」と言いながらも「子どもは風の子」、寒さに負けず元気に過ごしています。

## ごみ収集車「ありがとう」

私達の周りで働いている様々な人達に気づいてほしいという保育士の思いから、子ども達に「みんなの為に働いてくれているのは誰と思う？」と質問しました。警察や救急車の人、病院の先生…などの名前は挙がりましたが、一番お世話になっている方の名前が出てきません。そこで「お家の中にもいるよ。」と言うと一瞬静かになった後、さきこちゃんが「パパとママ！」と答えました。「そうだね。毎日働いてくれるお父さんとお母さんに有難う。」と伝えて、会話は続きました。「ごみをそのままにしているとどうなる？」「臭い、汚い」「その汚くて臭いごみを集めてくれるのは誰かな？」「ごみ収集車！」「ごみ収集車のごみを集めてくれるからみんなの住んでいる町はきれいなよ。ごみ収集車も有難うだね。」そして、勤労感謝の日が明けた火曜日、子ども達は「あっ、ごみ収集車！」いつものように窓に駆け寄ると「ごみ収集車、有難う。」と手を振っていました。これからの未来を生きていく子ども達の心の片隅に、環境問題のことが留まってくれたらいいなと思いました。



## 箸の練習を始めました

ままごと玩具の中にトレーニング箸を入れてそっと様子を見てみると、ゆめちゃんがすぐに興味を示し遊び始めました。一人で持ち方を試していますがなかなか持てません。「先生、どうやって持つん？」そこで保育士が持ち方や使い方を教えると繰り返し箸で遊んでいましたが、今では箸を使って、食事をするようになりました。箸に興味を持つ子どもが増えてきて、毎日、箸でスポンジや毛糸を挟む練習をしています。徐々にどの子も箸に移行していく予定です。家でお箸を持っていたら、正しい持ち方を教えて下さい。

## 先生、「剣」作って！

「先生、剣、作って！」と虹を描いた紙を差し出した百花ちゃん。紙を丸めて簡単な剣を作って渡すと、それを聞いた煌くんが「剣、作って！」とやって来ました。「どうぞ」と作り渡していると、ままごとやパズルで遊んでいた子ども達が次々とやって来て「剣、作って！」。剣を持つと、ブロックで剣を作り遊んでいたグループへ合流し、「たんじろうになる。」「れんごくがいい。」と話しています。やっと全児に渡し終えて声のする方に目をやると、自分達で役を決め剣を構えて、「鬼滅の刃」ごっこをしている最中でした。子ども達の気持ちが一つになり遊びへと発展した初めての出来事でした。

## I・Yです！

今まで一時保育を利用していましたが、12月からクラスの仲間に入りしました。よろしくね。





## こすもすだより

2020. 12. 10 (木)

舞い散る枯葉や冷たい風に、本格的な冬を感じられる季節になりました。“子供は風の子” 戸外に出ても寒さに負けず元気いっぱい走る子どもたち。しっぽ取りや鬼ごっこをする中で、体力がどんどんついてきていることを喜び、逃げ切れた時の笑顔がきらきらと眩しいです。



### ～どうする?～

先日のリトミックでの出来事です。先月した『雷の音が鳴ったら座る』という活動を思い出して「雷のやつしたい」と楓輝くん。すると千誠君が“雷”という言葉聞き「怖い」と泣きそうな顔で言いました。雷の活動がしたい楓輝くんと怖くてしたくない千誠くん。どうしようか講師の先生が困っていると「ゆっくんが怖いって言いよるけ、ゆっくんがお休みの日にしよう。」と楓奈子ちゃんが提案してくれ、楓輝くんも「そうしよう。」と賛成して無事に解決することが出来ました。まだまだ自分の思いを通そうとして言い合いになることも多いですが、少しずつ相手の気持ちに気づき優しく声をかけたり、相手の気持ちに寄り添う、思いやりの姿も見られるようになってきました。寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちのそんな姿に心が温かくなります。

### ～12月19日10時より生活発表会があるよ～

こすもす組は「大きなくりの木の下で」のリズム表現と、「さよならさんかく」という言葉遊びを『ごんぎつね』の世界に入り表現します。

リズム表現ではタンバリンやカスタネット、すずなどいろんな楽器を使って遊んできた中から生活発表会ではカスタネットを選び演奏します。

言葉遊びの「さよならさんかく」は絵本を繰り返し読むうちに覚えていて、3歳児の記憶力のすごさに驚きました。

子どもたちは、「ママたち来てくれるかな?」「上手でびっくりするかもしれん」と今から楽しみにしているようです。本番では緊張して言葉が出なかったり、間違えたりすることもあるかもしれませんが、成長した子どもたちの姿を見ていただけたらと思います。

### ～おしらせ～

今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様からご理解と温かい支援を頂き、ありがとうございました。

今年の保育納めは28日(月)です。1月4日(月)より保育始めとなります。元気なみんなに会えるのを楽しみにしています。来年もよろしく願いいたします。



3歳児担任：草場



令和2年12月10日(木)

寒さが少しずつ厳しくなり、冬の訪れを感じられるようになりました。冷たい風に鼻を赤らめながらも、元気に遊ぶ子どもたちの姿がたくましいです。早いもので2020年もあと1ヵ月をきりました。コロナウイルスの影響で、いろいろな制限がある中でしたが、できないことばかりではなくその中でなにができるかを考えながら、心身共に成長したのではないかと思います。来年もこれまでと同じく、子どもたちの成長を見守りながら過ごしていきます。



### ごんぎつね

今年度の生活発表会は、新美南吉さんの「ごんぎつね」を異年齢で表現します。少し長い内容ではありますが、絵本を繰り返し読んだり、5歳児と一緒に劇遊びをしたりする中でストーリーを少しずつ覚えていきました。4歳児は、劇の中でナレーター役をします。初めは、台詞がなかなか出なかったり、恥ずかしそうに言ったりする姿がありましたが、最近では、自分で身振りを考えたり、自分なりの言葉で自信を持って話したりするようになりました。

劇の中では、子どもたちがグループに分かれ、ステージに上がりそれぞれの表現をします。成長を感じていただければと思っています。



### 都道府県

最近の子どもたちは、はやぶさ2の話から、世界の地図に興味を持っています。その中で日本を探し、友だちと一緒に日本地図のパズルを完成させたり、「〇〇県はおばあちゃんがいるんだよ」と話したり…。まずは、自分たちが住んでいる福岡県や周りの県から覚えていき、徐々に他の都道府県やその地域で有名な物など、楽しく覚えていけたらと思っています。



### お知らせ

12月29日(火)から1月3日(日)までは、お休みとなっています。

1月4日(月)に元気な子どもたちと会えるのを楽しみにしています。

来年度もよろしくお願いたします。



4歳児担任: 崎野



発行：令和2年12月10日（木）

### 【 こんぎつね 】

新美南吉さんの代表作に『こんぎつね』というお話があります。このお話は児童向けの文学作品で、様々な方によって絵本化され、広く認知されている童話の一つです。

ある山の中に、一人ぼっちのこんぎつねがいました。ごんはいつもいたずらばかりして、村の人たちを困らせています。ある日、兵十という男が川で魚を捕っていると、ごんはその魚を次々と川へ逃がしてしまいます。その拍子にウナギが首に巻き付き苦しんでいると、兵十に見つかりてしまいごんはそのまま慌てて逃げしてしまいます。それから何日か経ち、ごんは兵十の母親が死んでしまったことを知ります。ウナギを取ってしまったために、兵十の母親が死んでしまったに違いないといたずらしたことを後悔したごんは、次の日から兵十の家へ魚や栗、松茸などの食べ物をこっそり届けるようになりました。しかし、兵十は神様がしてくれたことだと神様に感謝しているのを知り、ごんはやるせない気持ちになります。それでも兵十のことを思い、次の日も兵十の家へ食べ物を持っていくごんでしたが、またいたずらをしに来たと勘違いした兵十に銃で撃たれてしまいます。そこでやっと、兵十はいつも食べ物を持ってきてくれていたのがごんであったことに気づくのです。

このお話を読んだとき、子どもたちは「ごんは撃たれて死んでしまったの？」「最初はいたずらしたけど、兵十のために食べ物を持って行ってたのに…」と兵十を想うごんの気持ちが届かなかったことを悲しんでいました。しかし「撃たれてしまったけど、最後にごんは、気づいてくれてありがとうって思ったかも。ごんは笑ってる気がする」「兵十は、毎日栗を持ってきてくれてありがとう、うれしかったよって言いたかったも」とお互いを思いやる優しい心に胸を熱くさせて話をしていました。

劇遊びを進めていくなかで、それぞれがアイデアを出し合いながら熱い思いを持って役になり、表現をしています。生活発表会では、子どもたちの懸命な姿と温かい思いやりの心を皆様に届けられたと思います。

### 大きなお芋？重いお芋？

5月に植えたサツマイモが育ち、先日芋掘りをしました。大きな芋が土から出ているのを見つけ「先生の顔よりも大きなお芋がとれるかも」と夢をふくらませながら、芋を傷つけないように、そっと手で掘り始めると少しずつ見えてくるお芋に歓声を上げ「そっちから掘って！」「みんなで芋の周りの土を掘ろう」と土や芋の感触を楽しみながら、友だちと協力し、夢中で芋掘りをしていました。子どもの顔よりも大きな芋も掘り出され、大きさまざまな271個の大収穫となりました。すると「どれが一番重い？」と子どもたちから疑問が。そこで、はかりを使って重さ比べをすることになりました。一番重いものは1.6kgもあり驚いていましたが、見た目では一番大きなお芋が1.3kgで、大きさは1番なのに重さは1番でないことに「え？何で？」「何が違うの？」「大きいのに軽い？」と不思議そうにしていました。すると「砂が乗っていたからかもしれない」「乗せる場所が違った？」と子どもたちなりに何故大きさと重さが合わないのか考え、見た目と実際の重さの違いに目を向けていました。日々の生活の中での子どもの“やってみよう！”“なんで？”“どうして？”という疑問や発見から様々な経験を通し、子どもたちが自ら考えたり試したり、進んで調べたりする意欲を大切に、今の育ちを支えていきたいと思えます。